

# 英米文化学会会報

第45号

平成12年10月26日版



第18回大会風景

会報目次に戻る <http://www.osk.3web.ne.jp/~shakey23/news.html>

## 目次

英米文化学会第104回例会開催のお知らせ

発表要旨

事務局からのお知らせ

インターネットと英語教育 サイト紹介

英文書籍海外自費出版のご紹介

英米文化学会第104回例会開催のお知らせ

開催日：平成12年11月18日(土) 2時半受付開始

場所：日本大学歯学部3号館（お茶の水駅下車ニコライ堂隣）3階

当日会費：一般500円 学生300円

忘年懇親会：今回は、参加者の負担を軽減すべく、5時半より会費**2,000円!**で行います。会場は、同じ校舎の**6階**となります。忘年会を兼ねておりますので、懇親会のみへの参加も歓迎いたします。年末ですので、お仕事などで例大会にお見えになれなかった会員もお顔をお見せくださるのをお待ちしております。

研究発表<15:00 - 17:00>

1. W.B.イェイツの 存在の統合 について

小館 美彦(中央大学)

司会 大東 俊一(人間総合科学大学)

2. シンポジウム - M.A.K. ハリデイの機能文法の理論と応用 第8分科会(談話分析研究)

## 第 104 回例会研究発表レジュメ

### 1. W.B.イェイツの 存在の統合 について

小館美彦

存在の統合 とは何か。専門家の間でも意見の分かれるこの問題に対して私なりの解答を出すのがこの発表の目的である。

私の結論では 存在の統合 とは全ての事象を美へと変貌することのできる人格的機能である。

イェイツの最晩年の言葉、「私のキリストは・・・ダンテが完全に均衡のとれた人体にたとえた 存在の統合 であり、すなわちブレイクの 想像 であり、ウパニシャッドに言う 自己である」を手がかりとして、 存在の統合 、ブレイクの 想像 、ウパニシャッドに言う 自己のそれぞれに関するイェイツ自身のコメントを整理しながら、上記の私の結論を補強していきたいと思う。

### 2. シンポジウム M.A.K. ハリデイの機能文法の理論と応用 第 8 分科会 ( 談話分析研究 )

はじめに - 機能文法とは

川口 恵子 ( 芝浦工業大学 )

メッセージとしての節 - 主題論述関係

西村 厚子・清時明美 ( 共立女子短期大学 )

やりとりとしての節 - 法

鳥飼 慎一郎 ( 立教大学 )

節を超えて - 節と節の関係

横山 千枝子 ( 日本大学 )

イントネーションとリズム - 新情報・旧情報

平川 敦子 ( 城西大学 )

メタファー

谷 憲治 ( 早稲田大学 )

談話分析やテキスト言語学において多大な影響を与えてきた M.A.K. ハリデイの機能文法 ( 選択体系機能文法 ) は、社会の中で言語が実際にどのように使用されているのか、という機能主義的視点より構築された言語理論である。その目指すところは英語のテキストを分析するための文法である。その理論の特徴は、言語を一つの観点からではなく、複数の観点より同時に分析するものである。たとえば、節 ( 文 ) を意味内容、話者と聞き手の間のやりとり、メッセージという三つの機能から考えるのである。これらの機能は節 ( 文 ) においては、文法構造や音韻構造によって示される。本発表では、ハリデイの基本概念のうち、主題論述関係 ( Theme-Rheme )、法 ( Mood )、節と節の関係、新情報・旧情報、メタファーをとりあげ紹介すると共に、その概念を用い、数種類のテキスト ( 英語教材、学生の書いた作文、コーパス資料など ) を分析してみる。

## 事務局からのお知らせ

### 会員の動き ( プライバシー保護のため省略 )

新入会員

住所変更

### 学会ホームページの URL が変更になりました

かねてより、英米文化学会にホームページスペース ( 通常 5 メガバイトのところを 50 メガバイト ) を提供して頂いております ( 株 ) スリー・ウェブのご都合で、学会ホームページの URL が変更となりました。ブラウザの登録先をご変更ください。

学会ホームページ <http://www.osk.3web.ne.jp/~shakey23/indexj.html>

## 住所録送付のご案内

平成 12 年 10 月現在の住所録をお送りします。取り扱いにご注意ください。誤りや変更ある場合はご一報ください。

## インターネットと英語教育 サイト紹介

インターネット情報全体の 90%以上が英語で書かれており、読解力が益々必要となることでしょう。英文を「読む」ことに焦点を当て、オンライン・レファレンスとして使用できる便利なサイトをご紹介します。

**ブリタニカ** <http://www.britannica.com/>

yakuza の項目なんぞ面白かったですよ。ブリタニカ百科事典ウェブスターの辞典もあって、samurai の複数形なんて出ていました。無料。

**コンコーダンス** <http://www.concordance.com/>

現在、150 人の作者による英米文学作品ならびにギリシャ・ラテン文学作品のコンコーダンスがオンラインで調べられます。検索結果の表示はクイック形式で出ますので、作品研究の友として絶好。無料。

**コンコーダンスのプログラム**が必要な場合は、<http://www.rjcw.freereserve.co.uk/> にてすばらしいコンコーダンスソフトウェアが入手可能です。出力はもちろんクイック形式ですし、整形などもコンコーダンスソフトから容易にできます。ただし、自分でエディタなどを使ってテキストをコンコーダンスソフトウェアが認識できる形式に整形できる能力が必要です。シェアウェア (US\$89.00) ですので、無料試用期間が過ぎた後も継続して使用するには、登録してユーザーにならねばなりません。

**英和辞書**なら決定版は、英辞郎 <http://www.alc.co.jp/>

現在の見出し語 84 万語!!! オンラインで検索できます。日本最大の英和辞典となっています。いわば「**成長する英和辞典**」となっていて、頻繁にバージョンアップ (現在バージョン 36) を繰り返しています。他にその名もズバリ『略語郎』で略語も検索できます。使用料無料。“辞郎シリーズ”の辞書データファイルの入手方法については、『英辞郎』のホームページ (<http://member.nifty.ne.jp/eijiro/>) を参照してください。ダウンロードすると無料で配布の英辞郎・和英辞郎・略辞郎・音辞郎辞書ですが、CD でも辞書を販売 (1,900 円) しています。

## 英文書籍海外自費出版のご紹介

現在、最も安価に英文書籍を海外自費出版できるには、多分米国の Barnes&Noble 書店でしょう。この書店は最近、Publish Your Book というコーナーを始めました。編集担当者はつけてもらえないので、Editorial Review なしという条件ですので、校正などは自己責任にて行うこととなります。四種類のコースに分かれています。

Writer's Club (US\$99)

Author's Choice -- New Manuscripts (US\$199)

Author's Choice -- Out-of-Prints (Free)

iUniversity (Free)

三番目と四番目は何と無料ですが、これは大学教科書を既に出版しているが、絶版となつて困っているなどの場合です。通常のいわゆる持込みによる出版に相当するのが、Writer's Club による出版のようです。

Writer's Club Press では、最初に 99 米ドルを支払い、一度の校正を経て出版される書籍は、Bowker の Books in Print に掲載され、ISBN 番号も付与されることとなります。出版形式は、books-on-demand という形態となり、注文を受けたときに高速印刷・製本して発注主に送付する形式となります。著者には、出版時に complimentary copy が 1 部送られてきます。それ以降の書籍は著者割引 25 から 40%で入手できることになり、自費出版したけれど書籍が山のように自宅に積み上げられるという悪夢から自由になります。印税はペーパーフォーム 20%、電子出版 50%が収入として入ります。書籍は、6 インチ x 9 インチのペーパーバックで、自由にデザインできる、4 色刷りのラミネート表紙つきになります。

入稿は、オンラインにて行い(郵送は US\$134)、Barnes&Nobles 社指定の様式をダウンロードして送信となります。オンラインで出版契約書を送ったりするところが、便利そうですね。クレジットカードは必須のようです。

興味のある方は、

<http://publishyourbook.iuniverse.com/>

をご覧ください。

英米文化学会会報 第 45 号 編集・発行：英米文化学会編集委員会 = 池田 広子、小川 喜正、  
岸山 睦、中村 豪、山根 正弘  
発行責任者： 中村 豪 〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷 2509-12 048-787-4693

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

問い合わせ先 英米文化学会事務局 佐藤治夫 03-3219-8160 ファックス 03-5204-8787

E-mail: [shakey23@tky.3web.ne.jp](mailto:shakey23@tky.3web.ne.jp) 学会ホームページ <http://www.osk.3web.ne.jp/~shakey23/indexj.html>